

都市の将来イメージ



戦略04関連
あらゆる人々の暮らしの場の
提供

FUTURE IMAGE

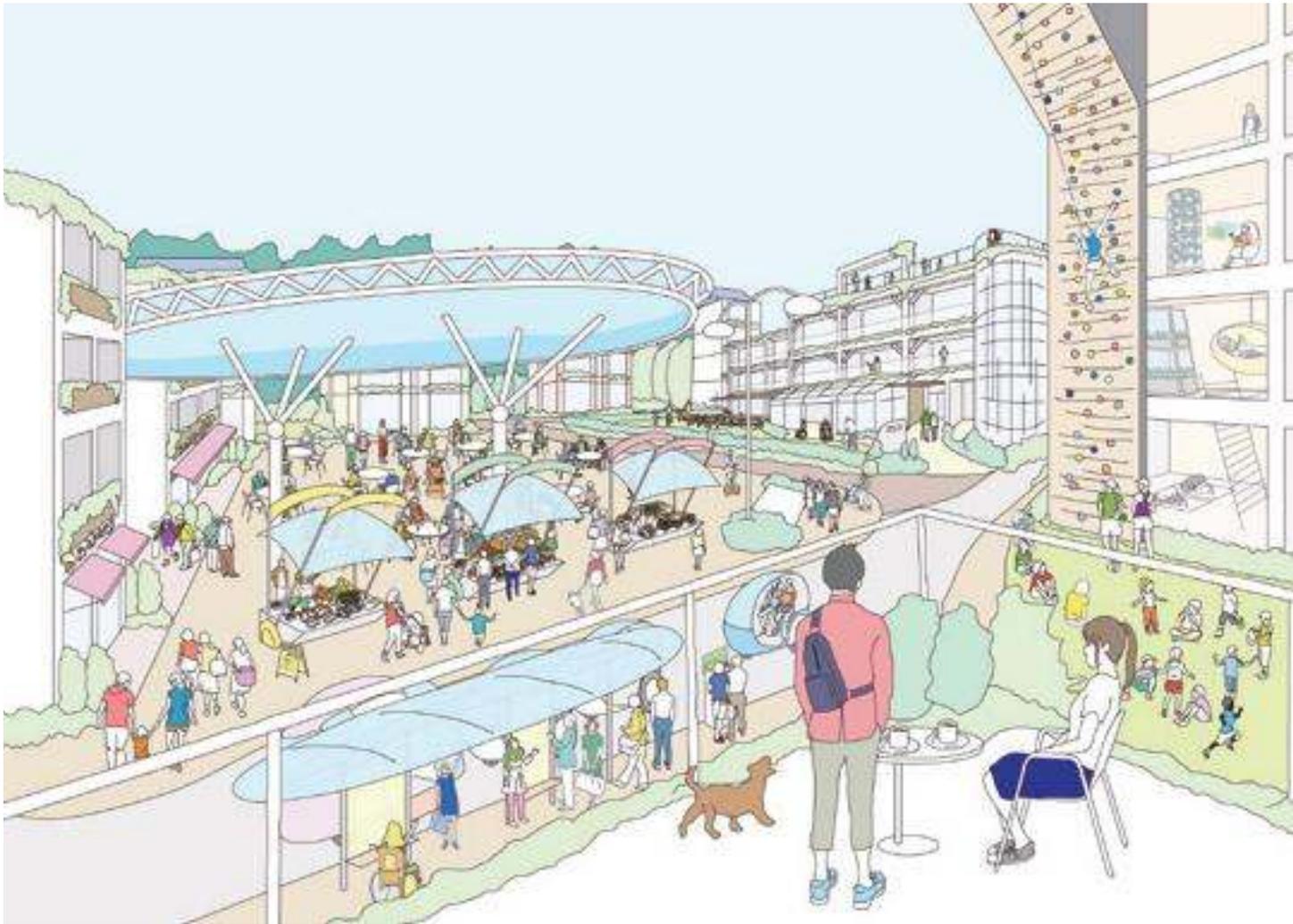
高齢者や子育て世代、障害者などあらゆる人が暮らしやすい場を提供するとともに、ライフスタイルや価値観の多様化に応じて、住み、働き、憩う場が選択できる都市を目指します。



(質の高い居住環境が充実した区部中心部)

国際水準の住宅やサービスアパートメントが建ち並ぶ区部中心部では、外国語対応の医療、教育、子育て支援施設などが整い、質の高い暮らしの場が充実しています。

世界各地からの旅行者はもちろん、地域の住民も歴史的建造物や芸術・文化施設を巡り、きれいな運河でカヌーを楽しみ、水辺沿いのカフェやスポーツ広場で余暇を過ごすなど、成熟した豊かな暮らしを送っています。



(良質な住宅ストックが整った区部周辺部や多摩地域)

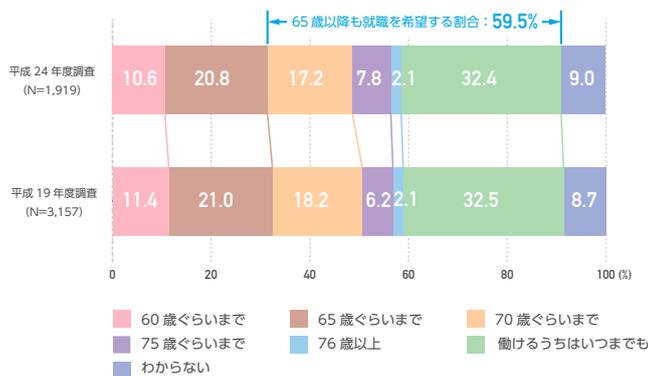
リノベーションや建替えにより良質なストックとして再生された公的住宅は、子育て支援や在宅医療など、生活に必要な機能を備え、多様なライフスタイルに対応できる暮らしの場となっています。

屋外で遊ぶ子供たちを地域で見守るコミュニティの形成が進むとともに、高齢者も気軽にまちでショッピング等を楽しめる環境が充実し、クリエイティブな仕事に従事する人が職住が近接した潤いのある環境で暮らしているなど、誰もが快適でゆとりのある生活を満喫しています。

現状と将来の見込み等

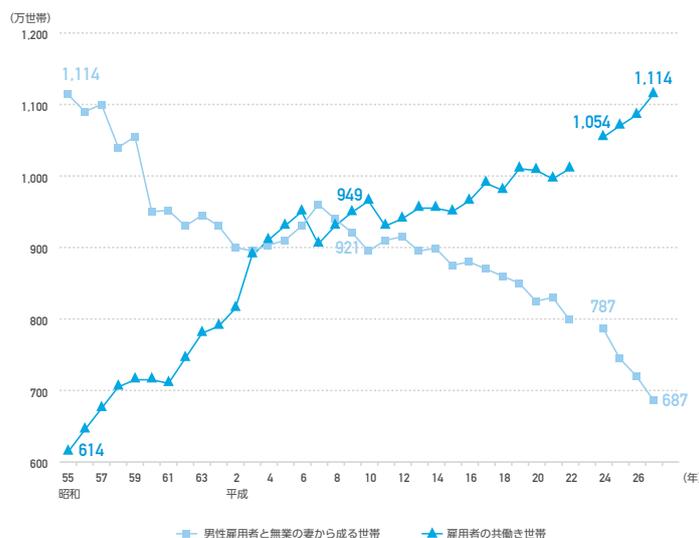
- 区部では共同住宅の比率が高く、一戸当たりの平均面積や持ち家率は多摩地域をやや下回る状況です。
- 高齢になっても働く意欲がある人は多く、共働き世帯も増加しています。(図4-1, 2)
- 今後も、就労や地域活動への参加を通じて幅広く社会で活躍するなど、誰もが生きがいを持って暮らせるとともに、安心して出産や子育てをしながら安定して働くことができる環境の形成が求められています。
- 経済的な価値だけでは測れない「ゆとり」や「質」を重視する生活や、様々なモノや空間のシェアに対するニーズも高まっており、多様化する都民の価値観に対応する方策の一つとして空き家を活用することも考えられます。(図4-3)

図4-1 退職希望年齢



(資料)「高齢者の健康に関する意識調査結果」(平成19、平成24年 内閣府)から東京都作成

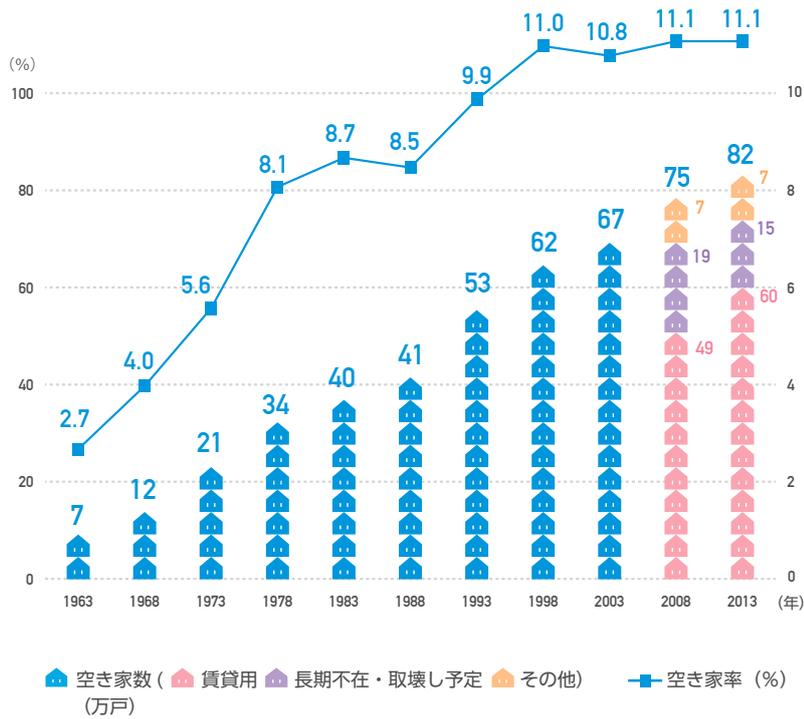
図4-2 共働き等世帯数の推移



1. 昭和55年から平成13年までは総務庁「労働力調査特別調査」(各年2月。ただし、昭和55年から57年は各年3月)、平成14年以降は総務省「労働力調査(詳細集計)」より作成。「労働力調査特別調査」と「労働力調査(詳細集計)」とは、調査方法、調査月等が相違することから、時系列比較には注意を要する。
2. 「男性雇用者と無業の妻から成る世帯」とは、夫が非農林業雇用者で、妻が非就業(非労働人口及び完全失業者)の世帯。
3. 「雇用者の共働き世帯」とは、夫婦共に非農林業雇用者(非正規の職員・従業員を含む。)の世帯。
4. 平成22年及び23年の値は、岩手県、宮城県及び福島県を除くため結果を示していない。

(資料)「男女共同参画白書 平成28年版」(平成28年5月 内閣府)から東京都作成

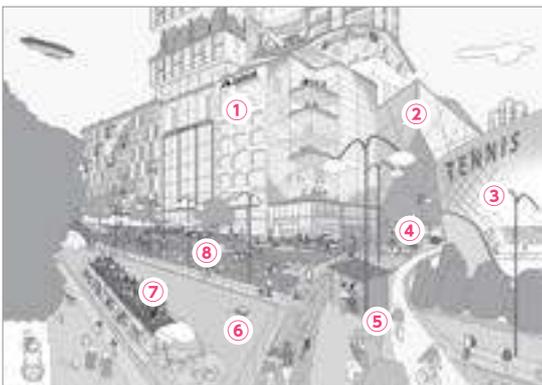
図4-3 東京都の空き家数及び空き家率の推移



(資料)「住宅・土地統計調査」(平成25年 総務省)から東京都作成

都市の将来イメージの解説

キープラン



解説

- ① 国際ビジネスパーソンが快適に暮らせるサービスアパートメント
- ② 観光客でにぎわう近代芸術の美術館
- ③ 誰もがアクセスしやすいスポーツ施設
- ④ 地下鉄駅間を無人で運行する便利なデマンド交通
- ⑤ 緑と水を感じながら回遊できる歩行者空間
- ⑥ カヌーを楽しめる運河
- ⑦ 水辺のにぎわい施設としても機能する船上レストラン
- ⑧ 開発に併せて創出された水辺のテラス



- ① 計画的に更新し大事に長く使われ続ける公的住宅
- ② 壁面をボルダリング*が楽しめるようにリノベーションした建物
- ③ テレワークも可能なSOHO*
- ④ 2戸を1戸にリノベーションしたゆとりある居室
- ⑤ 建替えて敷地を統合し緑の共用空間を生み出したマンション
- ⑥ 好きな時間に利用できるデマンド交通
- ⑦ 朝採れ野菜や趣味の工房の作品を販売しにぎわうマルシェ
- ⑧ 屋上や壁面が緑化された建物
- ⑨ 空室をリノベーションした福祉施設